

はじめに

日航ジャンボ機の墜落の悪夢もさめやらぬうちに、スペースシャトル「チャレンジャー」号の空中爆発という衝撃的なニュースが人々の心を凍りつかせたのは、大寒のさ中のことであったが、桜花の季節も目前となった。

ここに「地域経済」第6集をお届けする。本号は、一昨年刊行の第4集に続き、自由号(自由テーマにもとづく地域論集)として編纂されたものである。御覧のようにきわめてバラエティに富む内容のものとなっている。これは、当初、本論集が特定テーマにもとづく総合研究の特集号として隔年発行されていたのを、年刊への切り替えを機に、特集号と自由号との交互発行の体裁に改めたものである。

毎年度末の本論集刊行の度に、深い感慨を覚える。研究所発足以来、まる5年、研究会発足からは丁度10年になる。この間、大学当局や研究員および教職員の方々の温い御支援のお陰で、ようやくこの年歴を重ねることができた。最近、文部省からの助成もあり、また研究や講師の依頼等も相次いでおり、ようやくその活動も軌道にのってきている。

本学も創立20周年を目前にして、大きな転機を迎えつつある。新年度から産業経営学科を開設、現在、キャンパス整備が急ピッチで進められている。これにともなって、新しい多くのスタッフを迎えつつあるが、研究所の研究陣容もまたいっそうの強化が期待されるのである。

現在、研究所は「岐阜県の産業と経済」のテーマで総合研究に当たっているが、われわれはこれに長期的に取り組む考えである。次号から逐一、その成果が発表されよう。

御協力と御支援を切にお願い申し上げる次第である。

岐阜経済大学地域経済研究所

所長 大迫輝通